

平成17年基準 消費者物価指数

東京都区部 平成21年4月分(中旬速報値)

1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として100.6となり、前月比は0.1%の下落。前年同月比は0.2%の下落となった。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は100.7となり、前月と同水準。前年同月とも同水準となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.1となり、前月比は0.1%の上昇。前年同月比は0.6%の下落となった。
- ~~~~~

図1 総合指数の動き

図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

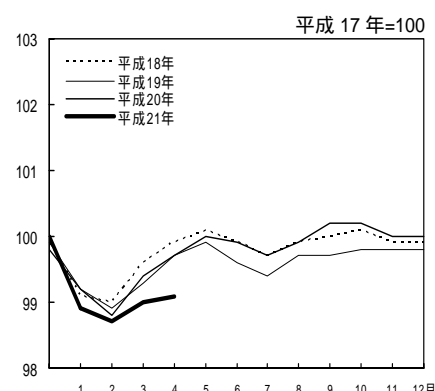
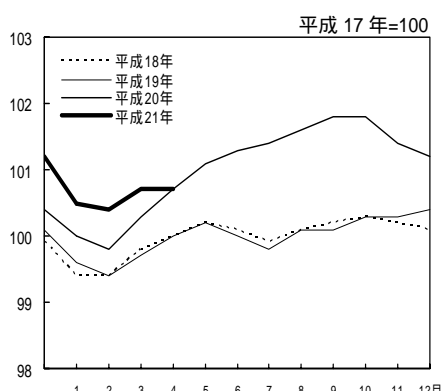
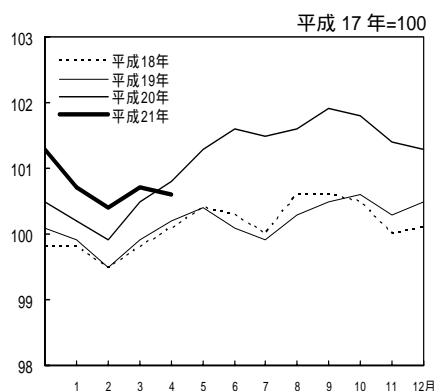


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の前月比及び前年同月比

		平成20年												21年 (%)			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
総合	前月比	0.3	0.5	0.3	0.1	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	0.6	0.3	0.3	0.1			
	前年同月比	0.6	0.9	1.5	1.6	1.3	1.4	1.2	1.1	0.8	0.5	0.5	0.2	0.2			
生鮮食品を除く総合	前月比	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.7	0.1	0.3	0.0			
	前年同月比	0.7	0.9	1.3	1.6	1.5	1.7	1.5	1.1	0.8	0.5	0.6	0.4	0.0			
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前月比	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.0	1.1	0.2	0.3	0.1			
	前年同月比	0.0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.5	0.4	0.2	0.2	0.3	0.1	0.4	0.6			

注) はマイナスを表す(以下同じ)。

2 東京都区部

2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年=100)

指数	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	生鮮食品を除く食料									
指数	100.6	100.7	99.1	102.8	100.0	103.3	100.0	111.9	93.6	100.6	99.5	97.7	103.3	95.1	101.3
前月比(%)	0.1	0.0	0.1	0.4	1.4	0.2	0.0	0.6	0.7	4.0	0.5	0.2	0.5	0.6	0.1
寄与度	0.1	0.00	0.07	0.10	0.06	0.04	0.00	0.04	0.02	0.19	0.02	0.02	0.02	0.07	0.01

* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合(以下同じ)

注) 各寄与度は，総合指数の前月比に対するものである。

総合指数の前月比が0.1%の下落となった内訳を寄与度で見ると，食料，教養娯楽などの下落が要因となっている。

なお，被服及び履物などは上昇した。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前月比(寄与度)	品目，前月比(寄与度)
食料	生鮮果物	-14.2%(-0.12)	…… いちご -22.0%(-0.11)， オレンジ -4.5%(0.00) など
教養娯楽	教養娯楽サービス	-0.6%(-0.04)	…… 外国パック旅行 -12.2%(-0.10) など
被服及び履物	シャツ・セーター・下着類	7.7%(0.10)	…… 婦人Tシャツ(半袖) 2.9%(0.00) など

3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前年同月比(%)	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	生鮮食品を除く食料									
前年同月比(%)	(0.2)	(0.4)	(0.4)	(1.5)	(3.1)	(2.4)	(0.2)	(7.2)	(1.2)	(1.5)	(0.7)	(2.6)	(0.8)	(1.6)	(0.8)
寄与度	(0.2)	(0.38)	(0.28)	(0.37)	(0.13)	(0.49)	(0.05)	(0.44)	(0.03)	(0.07)	(0.03)	(0.26)	(0.04)	(0.18)	(0.04)
寄与度差	0.2	0.00	0.43	0.10	0.20	0.31	0.08	0.28	0.06	0.03	0.00	0.09	0.03	0.33	0.03
寄与度差	0.4	0.38	0.14	0.27	0.07	0.19	0.03	0.16	0.03	0.04	0.02	0.17	0.01	0.15	0.01

注) ()は，前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は，総合指数の前年同月比に対するものである。

総合指数の前年同月比が0.2%の下落となった内訳を寄与度で見ると，教養娯楽などの下落が要因となっている。

なお，光熱・水道，食料などは上昇した。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前年同月比(寄与度)	品目，前年同月比(寄与度)
教養娯楽	教養娯楽サービス	-2.2%(-0.15)	…… 外国パック旅行 -15.1%(-0.13) など
光熱・水道	ガス代	9.0%(0.17)	…… 都市ガス代 9.4%(0.17)
食料	菓子類	4.9%(0.09)	…… チョコレート 16.0%(0.03) など

参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総合	財										サービス	
		生鮮食品 を除く財	農畜 産物	水産 物	工業 製品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出版物	サービス	公共 サービス	一般 サービス	うち 外食	うち 民営家賃
前年 同月 比 (%)	(0.2)	(0.3)	(0.6)	(2.5)	(0.6)	(5.9)	(9.2)	(0.7)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	(1.8)	(0.1)
	0.2	0.3	0.2	3.4	0.7	6.9	6.1	0.6	0.2	0.0	0.2	1.1	0.3
寄与度	(0.2)	(0.12)	(0.23)	(0.17)	(0.17)	(0.18)	(0.47)	(0.01)	(0.12)	(0.03)	(0.13)	(0.11)	(0.00)
	0.2	0.12	0.07	0.23	0.20	0.20	0.32	0.01	0.12	0.00	0.09	0.07	0.01
寄与度差	0.4	0.25	0.15	0.06	0.03	0.03	0.15	0.00	0.23	0.03	0.22	0.04	0.01

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は、総合指数の前年同月比に対するものである。

参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比(%)		中 分 類	前月比(%)	
1	シャツ・セーター・下着類	7.7	1	生鮮果物	14.2
2	生鮮野菜	4.6	2	教養娯楽用耐久財	4.5
3	衣料	3.5	3	電気代	2.0
4	履物類	2.5	4	医薬品・健康保持用摂取品	1.7
5	寝具類	1.7	5	生鮮魚介	1.5

参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比(%)		中 分 類	前年同月比(%)	
1	ガス代	9.0	1	他の光熱	27.6
2	教科書・学習参考教材	7.2	2	教養娯楽用耐久財	24.0
3	電気代	5.7	3	生鮮果物	9.5
4	菓子類	4.9	4	生鮮魚介	7.2
5	乳卵類	4.2	5	家庭用耐久財	5.9

参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目(中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比(%)		中 分 類	寄与度	前年同月比(%)	
1	ガス代	0.17	9.0	1	教養娯楽サービス	0.15	2.2
2	電気代	0.15	5.7	2	教養娯楽用耐久財	0.14	24.0
3	菓子類	0.09	4.9	3	生鮮魚介	0.10	7.2
4	外食	0.07	1.1	3	自動車等関係費	0.10	2.5
5	穀類	0.06	3.2	5	生鮮果物	0.08	9.5

前年同月比が0.2%の上昇から0.2%の下落となったことに寄与した主な項目(中分類) 注1)

	前月	今月
教養娯楽サービス	-0.1% (-0.01)	-2.2% (-0.15)
電気代	10.4% (0.27)	5.7% (0.15)

(別掲)

石油製品 注2)	-25.0% (-0.31)	-12.8% (-0.14)
エネルギー 注3)	2.9% (0.16)	3.2% (0.18)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については15ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 消費者物価指数（東京都区部）
 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比は前月に比べ0.4ポイント縮小。
- ・電気代，都市ガス代の上昇幅が縮小したものの，ガソリンの下落幅が縮小。エネルギーにより総合の下落幅が0.01ポイント縮小。
- ・外食，穀類などの上昇幅が縮小。生鮮食品を除く食料により総合の下落幅が0.19ポイント拡大。
- ・外国パック旅行により総合の下落幅が0.13ポイント拡大。

表1 エネルギー構成目目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成21年3月		平成21年4月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	506	2.9	0.16	-0.3	3.2	0.18	0.01
電気代	247	10.4	0.27	-2.0	5.7	0.15	-0.12
都市ガス代	159	11.9	0.21	0.7	9.4	0.17	-0.04
石油製品	100	-25.0	-0.31	2.9	-12.8	-0.14	0.17
プロパンガス	7	1.0	0.00	-0.1	0.0	0.00	0.00
灯油	9	-26.9	-0.03	-1.2	-27.6	-0.03	0.00
ガソリン	84	-26.7	-0.28	3.7	-11.8	-0.10	0.17

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成21年3月		平成21年4月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	91	-4.3	-0.03	-1.3	-5.9	-0.05	-0.01
教養娯楽用耐久財	102	-22.3	-0.14	-4.5	-24.0	-0.14	-0.01
テレビ（薄型）	24	-26.6	-0.03	-7.7	-28.9	-0.03	0.00
パソコン（デスクトップ型）	12	-35.5	-0.03	-10.5	-41.8	-0.03	0.00
パソコン（ノート型）	19	-44.9	-0.03	-8.1	-46.9	-0.03	0.00
カメラ	10	-36.4	-0.02	-1.4	-35.4	-0.01	0.00

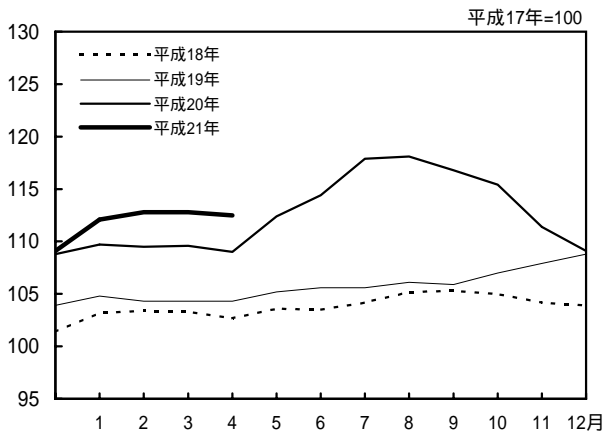
表3 交通・通信，教養娯楽の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成21年3月		平成21年4月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	35	7.7	0.03	-7.1	2.0	0.01	-0.02
タクシー代	31	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
移動電話通信料	166	0.8	0.01	0.0	0.8	0.01	0.00
自動車保険料（自賠責）	13	-26.6	-0.04	0.0	0.0	0.00	0.04
高速自動車国道料金	16	-3.3	-0.01	-6.6	-9.7	-0.02	-0.01
自動車	43	0.1	0.00	-1.3	0.2	0.00	0.00
外国パック旅行	71	0.8	0.01	-12.2	-15.1	-0.13	-0.13
宿泊料	102	-1.9	-0.02	-0.3	-1.5	-0.02	0.00

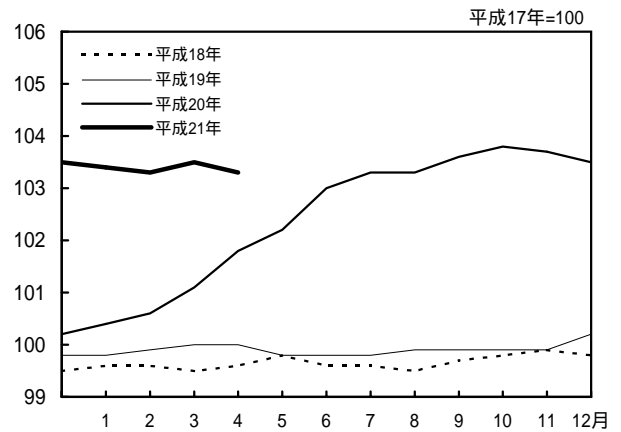
表4 総合指数の前年同月比に対する食料の寄与度（魚介類，野菜・海藻，果物を除く：寄与度順）

	万分比 ウエイト	平成21年3月		平成21年4月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
生鮮食品を除く食料	2059	2.4	0.49	-0.2	1.5	0.31	-0.19
菓子類	188	6.2	0.12	-0.1	4.9	0.09	-0.02
外食	617	1.8	0.11	-0.2	1.1	0.07	-0.04
穀類	196	4.8	0.09	-0.9	3.2	0.06	-0.03
調理食品	263	2.7	0.07	0.2	2.0	0.05	-0.02
乳卵類	97	6.9	0.06	0.6	4.2	0.04	-0.02
油脂・調味料	87	3.8	0.03	-0.2	1.4	0.01	-0.02
酒類	115	1.6	0.02	-0.4	-0.3	0.00	-0.02
飲料	129	-2.1	-0.03	-1.2	-3.0	-0.04	-0.01
肉類	171	-2.5	-0.05	-0.5	-2.3	-0.04	0.00

エネルギー指数の動き



生鮮食品を除く食料指数の動き



< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウエイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left(\frac{\text{当期の品目Aの指数} - \text{前期の品目Aの指数}}{\text{前期の総合指数}} \right) \times \frac{\text{品目Aのウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{1} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げても上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。